

SCOP ビデオシステム連携開発における ビジュアルコミュニケーションシステムの仕様書

I. 調達概要

1) 開発概要

a) 開発するシステム自体について

善光会が所有する介護福祉事業者向け情報管理システム『スマート介護プラットフォーム“SmartCareOperatingPlatform”(略称「SCOP」)』とビジュアルコミュニケーションサービスを連携させる（ビデオ通話）事により、介護カンファレンスなど他職種連携の情報共有について、さらなる効率化の実現を可能とするシステムの開発を目指す。

b) システムの意義、狙い、目的、効果

他職種連携における情報共有をビデオ会議で効率化する事が可能。簡易的な状況確認の打ち合わせや、カンファレンスに場所を問わず SCOP システムからシームレスに参加することが可能。結果、物理的な場所を設定し集まる、という必要性がなくなるため移動時間の削減、相手の空いている時間の合間に情報共有が実施可能となる。

c) どのように連携するものか

SCOP 内からの呼び出し機能によって、ビデオ会議に参加する。打ち合わせが開始される。

2) 調達範囲

a) ウェブ会議ビジュアルコミュニケーションソフトウェア

b) 上記ソフトウェア含むウェブ会議システムにおける次のサポート役務

- i) システム導入のサービス提供に際し必要となる環境整備対応
- ii) システム導入の支援対応
- iii) システムの運用及び保守対応

II. 調達システムの稼働環境要件

1) 構築環境

プライベートクラウド環境での構築

2) 動作環境

- i) オンプレミス型にてサービス利用が可能なこと

- ii) 会議参加者の端末の OS は Windows、Mac、Android、iOS を問わず利用が可能であること
- iii) ウェブ会議専用ソフトウェアは基本的にインストール型であること
- iv) Windows、Mac の場合、ウェブ会議専用ソフトウェアをインストールせずとも、ウェブブラウザベースでウェブ会議が可能な機能を有すること（ウェブブラウザベースの場合、一部機能制限があってもよい）
- v) OS は Windows7 以降、Mac OS X 10.11 (El Capitan) 以上、CPU は Core i5 以上、メモリ 4GB 以上であること
- vi) ウェブブラウザは Internet Explorer8 以降 (Internet Explorer11 以降を推奨)、Mozilla Firefox 最新版、Google Chrome 最新版、Safari 最新版のいずれかで動作すること
- vii) モバイルアプリケーションは、Android（5 以降）、iOS 最新を搭載した iOS の端末で動作すること

3) 通信環境

- i) 下りが 512kbps、上りが 384kbps 以上の通信帯域で利用できること
- ii) 通信は暗号化できること
- iii) 音声、映像、資料等、全ての通信をひとつの通信ポートで実現できること

III. 調達システムの機能要件

1) 全般機能要件

a) 映像

映像は H.264/SVC に対応していること

b) 音声

音声品質は 16kHz 以上の性能があること

c) 言語の選択

ログイン時に利用言語として日本語と英語の選択が可能であり、利用言語が異なる場合でもユーザ同士でも会議が可能であること

d) 搭載機能

III. 2) の要件を充足するウェブ会議機能

e) 利用数上限

ウェブ会議同時接続数は、同時接続数 100 端末利用が可能なこと

2) 搭載機能要件詳細

a) 基本機能

- i) 会議参加者同士が、映像・音声を利用したコミュニケーション（ビジュアルコミュニケーション）を行う機能を有すること
- ii) 会議は予約あるいはその場で参加いずれかの方法にて参加が可能なこと
- iii) ID、パスワードを知らせず、ユニークな URL もしくは暗証番号で第三者を招待可能なこと

b) 帯域制御

- i) 会議中に回線環境に応じて利用帯域の設定を自動で行い、低速回線での接続を考慮した機能を有すること
 - ii) ナローバンド(最低 256kbps)での接続を考慮した機能を有すること
 - iii) 高負荷 PC への高負荷を考慮した機能（音声接続のみ）を有すること
 - iv) 端末ごとに利用帯域を個別設定可能な機能を有すること
 - v) 会議室ごとに設定した帯域範囲で各端末の利用帯域を割り当てる機能を有すること
- c) 映像・音声の制御
- i) カメラとマイクとスピーカの ON/OFF 制御が個別に出来る機能を有すること
 - ii) 会議参加者の発言に際しては、発言権などの付与は必要とせず、発言ボタン等を押さない状態で自由に発言が出来ること
 - iii) 発言者が誰であるかわかるよう目立つ機能を有すること
 - iv) 会議システムにエコーキャンセラー機能を有すること
 - v) 話者音量の自動調整する機能を有すること
 - vi) 映像表示レイアウトを切り替える機能を有すること
 - vii) 映像は最大 8 接続まで、音声は同時に発言された場合に同時 3 拠点までの音声を他の拠点で聞くことが出来ること
 - viii) 参加者(ID入室者のみ)が全参加者の音声を一括でミュートする機能を有し、参加者は自らミュートを解除し発言することが可能なこと
- d) 録画機能
- i) 会議の内容（参加者の映像、音声、チャット）を任意の時点から録画が開始でき、任意の時点で録画を終了することができること
 - ii) 録画した内容はサーバに保存されること（端末内には保存されないこと）
 - iii) 録画した映像は会議記録として再生可能なこと
- e) テキストチャット機能
- i) テキストチャット機能を有すること
 - ii) テキストチャットのフィールドに URL を記載し、会議参加者が該当 URL をクリックすることで会議参加者の端末上にブラウザが開き、該当 URL のページを表示する機能を有すること
 - iii) チャットの内容は議事録としてサーバに保存され、閲覧が可能であること
- f) PC 画面共有機能
- i) デスクトップの共有機能（会議参加者の端末を他の会議参加者の端末上にリアルタイムで表示し、共有する機能）を有すること
 - ii) アプリケーションの共有機能（会議参加者の端末を他の会議参加者の端末上にリアルタイムで表示し、共有する機能）を有すること
- g) ホワイトボード機能

- i) 会議室内に、会議参加者のパソコンからデータの貼り込みが可能で、会議参加者の全員がそのデータに自由に図形、文字の書き込み、ペンツールを使ったマーキングができ、リアルタイムで表示の拡大や縮小が可能なホワイトボードを有すること
 - ii) Word、Excel、Power Point、PDF、JPG/JPEG、GIF、PNG、Bitmap、TIFF形式のファイルの貼り込みに対応していること
 - iii) 会議参加者全員が同時に張り込まれた資料への書き込みができ、資料への書き込み情報は議事録として録画映像に記録される機能を有すること
 - iv) 書き込んだ内容を UNDO で削除する機能、一括で削除する機能を有すること
 - v) ホワイトボードにファイルを貼り込む資料は、会議参加者の利用端末内のファイルを選択するだけで貼り込み、Word、Excel、PowerPoint、Acrobatなどのソフトウェアをインストールすることなく、資料を選択だけで貼り込めること
 - vi) 会議開始前、開催中の資料の貼りこみが可能であること
 - vii) 資料のサムネイル表示に対応し、複数ページの中から該当ページを選択し、ホワイトボード上に表示できること
- h) 各種管理機能・セキュリティ
- i) 管理用画面を有し、利用時間をはじめとした会議情報（ログ）の照会、削除、アクセスログ CSV 形式でのダウンロードが可能なこと
 - ii) パスワードの管理機能を有し、各種ログにパスワードを設定する機能を有すること
 - iii) 利用中の会議室は、会議室内から鍵をかけて、追加で参加者が入室できないようにする機能を有すること
 - iv) 登録した IP の端末からのみ会議室への入室が可能な機能を有すること
 - v) 録画が残らない設定が可能な機能を有すること
 - vi) 会議室の ID、パスワードを通知することなく、第三者を招待する機能を有すること
 - vii) 会議室毎に、個別の制限をかけられること
 - viii) 暗号化通信が実現できること
 - ix) 参加者を一覧で閲覧することが可能で、強制退室させる機能を有すること
- i) モバイル連携機能
- i) スマートフォン・タブレットからウェブ会議に参加可能なこと
 - ii) 参加可能なデバイスの OS は Android, iOS が含まれていること
 - iii) 接続用アプリケーションは無料でダウンロードできること
- j) その他機能
- i) 会議室入室前および入室中に、会議に参加している人を確認する機能を有すること
 - ii) アンケートを取得する機能を有すること

- iii) 回線速度の低下や環境状況の変化により会議継続が困難な場合、その状況を表示するサジェスト機能を有すること
- iv) 会議予約などの会議操作や管理操作を他のシステムと連携することができる API を有すること
- v) テレビ会議端末とウェブ会議が行えること
- vi) SCOP システムと連携が行えること

IV. サポート役務要件

- 1) サポート役務
 - I. 2)b)に記載のサポート役務を実施すること
- 2) サポート体制
 - i) 上記役務の実施について、24 時間 365 日電話受付（日本語）のサポート体制を配置すること。
 - ii) 問合せ内容のレベルにより技術者へのエスカレーションを行う体制であること

V. 契約条件

令和元年 10 月中での締結が可能であること

以上